

## 1. ボード PADOBO PADDLE SURFER 11'4"

主催者側が用意する PADOBO PADDLE SURFER 11'4"を使用すること。

ただし、PADOBO PADDLE SURFER 11'4"を所有する選手は持参したボードを使用できる。

## 2. パドル オープン

## 3. 競技中のルール

- (1) 競技中の選手は、リーシュコードを装着していなければならない。
- (2) ライフジャケットの着用を義務付けられる場合はこれに従わなければならない。
- (3) 一度スタートしたらフィニッシュするまでの間、ボードの上に乗ってパドリングする。
- (4) ワイプアウトは失格とする。ワイプアウトした選手は速やかに競技エリア外に出ること。
- (5) ボード引き波は、自然のコンディションとみなされる。

## 4. スタート

- (1) スタートライン及びスタートの方式は、レース当日の選手ミーティングで発表する。  
スタート時間とともに掲示板に掲示される。
- (2) 選手は各自の責任において、ヒート及びビブカラーとスタート位置を把握しなければならない。
- (3) 各選手はスタート1分30秒前までにビブを着衣の上、指定された場所でスタンバイする。
- (4) スタートの合図は旗とホーンにより示される。
  - 準備信号 (30秒前)      ■ 黄色旗降下 音響信号一声 (短音)
  - スタート信号 (5秒前)      ■ 青色旗掲揚
  - スタート信号 音響信号 短音二声の後、長音一声 同時に ■ 青色旗降下
- (5) スタート信号・青色旗が降下するまで、示されたスタートラインより、選手の身体及びボードやパドルの一部がコース上に出てはならない。

## 5. スタートのスタイルと方式

### ■ ビーチスタート

- ① 選手はボードとパドルを持って陸上に指示されたスタートラインに着く。
- ② スタート準備信号 30秒前が示されたときには、リーシュコードを装着しているものとする。
- ③ 砂浜に示されたスタートラインより、スタートしようとする選手の足の先が出てはならない。

### ■ ウォータースタート

- ① 選手はスタート 30秒前までにリーシュコードを装着し、ボードとパドルを持って海中に指示されたスタート位置に着く。
- ② スタートの合図でボードに乗り、パドリングしてスタートする。

## 6. リコール(フライング)

- (1) 再スタートは行わない。フライングが認められるときはスタート審判が赤色を掲揚する。
- (2) 明らかにフライングしたとみなされる選手は直ちにコールされ、ヒートの最下位となる。
- (3) 失格した選手はビブカラーとナンバーでコールされる。
- (4) コールされた選手は速やかにコースを離脱してビーチに戻らなければならない。

## 7. 優先権

### 「コース上を先行するボードは優先権を得る」

- (1) 後続の選手は先行している選手を避けなければならない。
- (2) 権利の移行は後続選手のノーズが先行している選手のノーズを越えたとき、優先権を持つ。

### 「マークに近いボードは優先権を得る」

- (1) オーバーラップしているボード同士がマークを回航する際は、マークに対し内側にあるボードが優先権を持つ。

### 「すべての選手は危険回避に努めなければならない」

- (1) ワイプアウトしている選手は他の選手の妨げになってはならない。
- (2) ワイプアウトしているボードは、他のすべての選手が避けなければならない。

## 8. マーク回航

- (1) マーク審判員を置く。
- (2) マーク審判員は、選手が規制の通りに回航できるかを確認する。
- (3) 選手は各マークを決められた方向から、確実に回航しなければならない。
- (4) 回航していない場合は、その場でマーク審判員よりコールされる。
- (5) コールされた選手はヒートの最下位となる。

## 9. 障害物の通過

- (1) ワイプアウトまたは復元中の選手及びそのボードは、コース上にある障害物とみなす。
- (2) コース上にある障害物にノーズが衝突した場合は失格とし、ヒートの最下位となる。
- (3) コース上にある障害物をパドルで叩く、手で押す、足で蹴るなどの行為をしてはならない。

## 10. フィニッシュエリアとゴール

- (1) レースのフィニッシュは、ストロークを終了する範囲。
- (2) ゴールは、海上に設けた見通し線とする。
- (3) ゴールは、ボードのノーズがフィニッシュラインの見通し線を横切ったときとする。
- (4) ゴールした選手はビブカラーでコールする。

## 11. 抗議 (プロテスト)

- (1) 選手は他の選手のルール違反についての抗議を直ちに行う事が出来る。
- (2) 抗議の内容が認められた場合は、記録訂正を行う事がある。
- (3) 抗議された内容及び変更または訂正した内容は、全て書面にて記録するものとする。

# スラロームコース図

